

「新潟市ほたるの里交流館」指定管理応募者の事業計画

西蒲区産業観光課

評価項目	株式会社 福井開発
法人の 評価	予算の範囲内での適切な執行 人件費 2,040,000 円 管理費 650,700 円 事務費 229,300 円 事業費 300,000 円 計 3,220,000 円
	コンプライアンス 個人情報保護関係 施設従業員に対する教育、訓練、監督を実施し、交流館の管理に関する協定書はもとより各種法令は遵守するとともに守秘義務を徹底します。個人情報についても従業員に個人情報保護の基本を教育し新潟市個人情報保護条例を準用し適正な対応をし、関係書類及びパソコンデータの管理を徹底します。
	環境保護関係 社会貢献活動等 環境保護関係 ゴミは分別を徹底し、リサイクルできるペットボトル、缶、ダンボール及び紙など従業員はもちろん、お客様からも協力を得ながら資源ごみとして提供しております。 社会貢献活動 ①本年7月に行われました西蒲区役所産業観光課より巻観光協会に協力依頼があった「西蒲区海岸一斉清掃」にボランティアとして参加しました。今後、当社人材育成の場という意味も含め積極的にボランティアの参加を実施します。 ②当社及びお客様からご協力いただき新潟国際交流協会や災害が起きた場合の募金活動を実施。本年の東日本大震災にも積極的に募金活動を実施し、巻商工会を通して関係機関拠出しました。
	人材育成関係 施設利用者のサービス向上、従業員の資質向上を図るとともにサービス体制の充実、施設の安全・衛生管理を図れるように下記の通り研修を実施しております。 ①毎週の朝礼で従業員全員による販売・接客の10大用語の挨拶練習 ②他店のサービス業種訪問による接客視察研修 ③講師を招いて実技でのサービス接客研修 ④年2回の消防訓練を実施するとともに、災害時における防災危機管理マニュアルを基に、お客様や従業員の人命の安全、二次災害の防止に努める
	指定管理者としての運営実績 ・旧巻町から「ほたるの里公園指定管理者」に指定。新潟市に合併後も継続。 内 容:公園内にある じょんのび館、角田山自然館及び多目的広場の管理・運営。 契約期間:平成 17 年 7 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで 現在6年3ヶ月 ・新潟市から「新潟市ほたるの里交流館指定管理者」に指定。 内 容:ほたるの里内に平成 18 年 4 月に完成したほたるの里交流館の管理・運営。隣接するじょんのび館と一体的、効率的に管理し、市民サービス及び地元産木材の素晴らしさのアピールに努める。平成 18 年度～平成 21 年度に続き2期目。 契約期間:平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで 現在契約最終年度
施設管理の 評価	施設の管理方法 <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[代表取締役] --- B[営業・総務課] B --- C[総務フロント係] B --- D[業務ホール係] B --- E[厨房係] B --- F[交流館係] C --- G[事務所受付担当] D --- H[施設管理ウエイレス担当] E --- I[食堂担当] F --- J[交流館担当] </pre> </div> 基本方針 ①施設管理に当たっては、施設利用者が平等かつ公平なる利用ができるように配慮、工夫に心掛ける。 ②施設管理運営に当たっては、施設の効用を最大限に発揮できるように努めるとともに、管理経費の節減を図れるように最大限努力する。 ③施設管理者に対しては、常に安全管理、衛生管理に配慮するとともに、緊急時における体制作りを徹底する。
	稼働率アップへの取り組み 施設の知名度アップにまだまだ不十分な面があり、まずそこに努力が必要と感じております。交流館独自のホームページを立ち上げ、研修室を利用した会議や研修会の誘致を積極的に行う。じょんのび館とのより一層の連携を密にして宴会前の会議利用がある場合での誘致、行政等にもパンフレット等での施設紹介にご協力いただき研修会や会議などでの誘致に取り組み少しでも知名度アップにつなげていきたいと考えております。 自主事業により一層努力したいと考えております。今現在年3～4会実施していますが、どの回もある程度の人数が集まるようになりました。施設利用で大きなウェートをしめる程に回数や内容をより充実させ施設の知名度を上げ、稼働率のアップに取り組みます。
	要望や苦情に対する対応 要望については、入館者からの声やアンケート調査などから利用者のニーズを把握し、管理運営に最大限反映できるシステムを確立させて対応する。苦情については、誠意を持って真摯に対応することを最優先とし、従業員に周知徹底するとともに教育訓練計画の実施や苦情処理マニュアルの整備も行う。
	災害発生時の対応 <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[災害(事故)発生] -- 連絡 --> B[事務所] B -- 通報 --> C[地元警察(消防)] B -- 報告 --> D[新潟市西蒲区役所] B -- "避難等指示(放送等)" --> E[各担当部署] E -- 避難誘導 --> F[来館者等] </pre> </div> 1. 災害発生時及び事故発生時の対応 2. 事故防止の方策 (1)施設管理・運営に当たっては、地元警察(消防等)はもとより、警備会社、新潟市との連携を密にして事故の未然防止に努める (2)年 2 回の消防避難訓練を実施するほか、各種会議を開催する中で、事故防止に関する意識の啓発に努める

	管理経費削減の取組み	<p>管理運営を行なう上で当然コスト削減を図らなくてはなりません。過去3年間の管理経費を見ると20. 21年度では約250万円で23年度については自主事業に力を入れたため260万円強となりました。大きく分けて人件費と管理費について下記のとおり実施したいと考えます。</p> <p>①人件費 現在の施設管理人を1名責任者として雇って、清掃から全て担当をお願いしております。これ以上の人件費としての削減は厳しい面もあるかもしれませんが、今後、もっと効率の良い時間での配置を考え、更なる人件費の削減に努めたいと考えております。</p> <p>②管理費 管理費については、過去3年で確実に削減できておりますのが水道光熱費です。震災の影響もあり館内掲示で節電を呼びかけ実行しております。利用がない場合は全てスイッチをオフにして、今まで以上にこまめにチェックして削減を図ります。</p>																				
事業の評価	効率的な利用計画	<p style="text-align: center;">平成24年度事業計画</p> <p>24年度事業方針 6年間の管理運営実績を遺憾無く発揮し、まずは当施設の建設目的である新潟産木材の素晴らしさや各種技法に触れていただき、木材の良さを知っていただけるよう広くアピールすることに努力します。また、下記の集客対策を実施することで集客目標を達成出来るように努力します。</p> <p>集客対策 ①自主事業 じよんのび館の入浴と食事とのタイアップで木材関連や季節にあった内容で自主事業を実施します。1回につき20名程度の利用があり、回数や内容を検討した上で行います。</p> <p>②会議利用の誘致 施設の使い良さをしっていただく意味で積極的なアピールで誘致を実施します。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">集客目標</td> <td>24年度</td> <td>施設見学者:3,000人</td> <td>施設利用者:800人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25年度</td> <td>施設見学者:3,000人</td> <td>施設利用者:900人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>26年度</td> <td>施設見学者:3,000人</td> <td>施設利用者:1000人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>27年度</td> <td>施設見学者:3,000人</td> <td>施設利用者:1000人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28年度</td> <td>施設見学者:3,000人</td> <td>施設利用者:1000人</td> </tr> </table>	集客目標	24年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:800人		25年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:900人		26年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:1000人		27年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:1000人		28年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:1000人
	集客目標	24年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:800人																		
		25年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:900人																		
	26年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:1000人																			
	27年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:1000人																			
	28年度	施設見学者:3,000人	施設利用者:1000人																			
施設のPR	<p>施設PR, 林業・木材産業振興への取り組み 今まで独自の交流館のホームページを立ち上げていませんでした。これを立ち上げるにより、じよんのび館のホームページにリンクさせるなどして、まず、交流館のホームページを多くの方から見ていただけるような環境を作りたいと考えております。また、林業関連のホームページとも繋がらせてもらい、現代のインターネット社会を利用したPRを進めます。</p> <p>地域森林の振興と木材の普及等に力になれるよう努力します。森林ボランティア団体の活動拠点として、定例会合及び体験活動開催等の支援をしていき、また、団体のレベルアップにつながる研修会等を誘致し支援します。施設内には関連のパンフレットやチラシなどを用意しておき、利用者から県内の林業関連の情報の発信地としての役割を担うような施設と理解していただきよう努める。</p> <p>小学校等の学校教育の一環としての活動を行います。近隣の学校での校外学習で当施設の見学を誘致し、林業での地元産業を勉強していただけるようにする。地元巻南小学校2年生が見学に来られています。</p>																					
管理事業の取組み	<p>じよんのび館等の連携 じよんのび館は西蒲区巻地区の観光の拠点としての役割を果たしております。年間15万人程度の入館者があります。そのじよんのび館とは廊下でつながっております。交流館の利用者を増加させるためには、いかにじよんのび館の入館者からも利用していただけるかが一番重要だと考えております。見学者や自主事業での対応もそうですが、今後一番力を入れたいのが、じよんのび館で宴会をされる前に会議を開かれる利用者の誘致です。宴会プランに会議を組み合わせることで売出すことにより、交流館を含めた上でじよんのび館は会議や研修でも利用できる施設ということをまずは地域の人たちから知っていただき、新潟市全体へ普及できれば成果を上げることができると考えております。</p> <p>角田山自然館は角田山の自然などを紹介する施設であり新潟市内の小中学校から校外学習で見学に来られます。見学に来られた生徒を角田山からの木材で建設された交流館とタイアップできればと考えております。</p> <p>地元福井地区はともより地域住民の憩いの場として気軽に利用できるよう提供して、地域に愛される施設になれるよう努力します。</p>																					